

News Release

2025年2月6日



令和7(2025)年度中野区 当初予算案区長記者会見



中野区企画部 広聴・広報課 03-3228-8803



～にぎわうまち 広がる安心 「発展」と「充実」の未来につなげる予算～

令和7(2025)年度 中野区当初予算案の概要

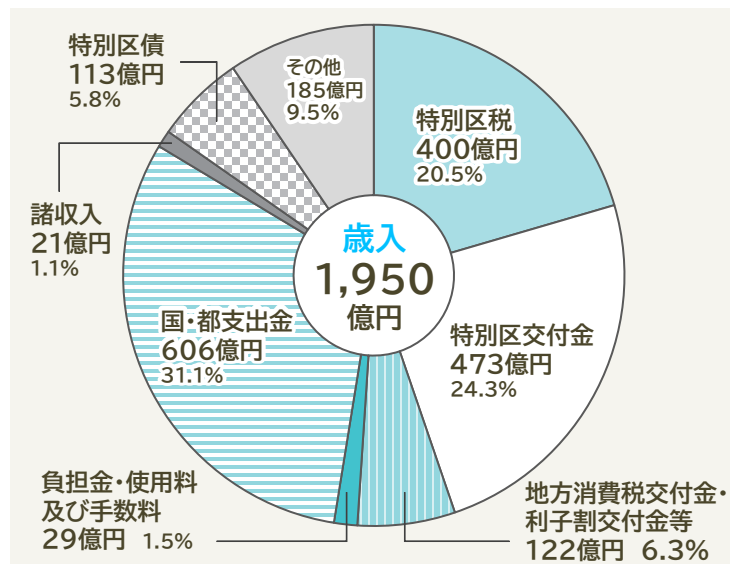
令和7(2025)年度中野区当初予算は、「にぎわうまち 広がる安心『発展』と『充実』の未来につなげる予算」とするため、計画に基づく政策及び施設整備、社会の情勢を踏まえた区民生活を基軸とした取組に重点をおいた予算編成としています。

一般会計は、**1,949億9,600万円**（前年度比**2.7%**減）。4つの特別会計を含めた5会計の合計は、**2,659億5,400万円**（前年度比**1.7%**減）となりました。

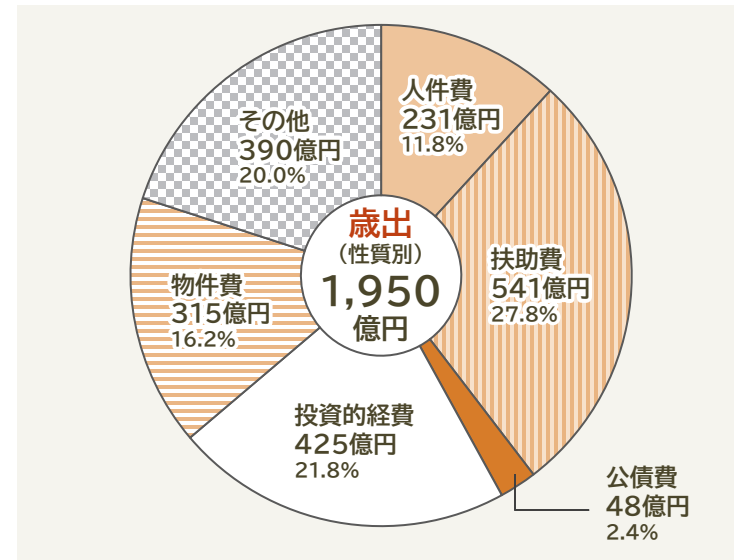
	令和7年度	令和6年度	差し引き	前年比
一般会計	1,949億9,600万円	2,004億3,700万円	▲54億4,100万円	▲2.7%
用地特別会計	11億5,000万円	14億9,900万円	▲3億4,900万円	▲23.3%
特別会計 国民健康保険事業特別会計	356億6,100万円	350億8,400万円	5億7,700万円	1.6%
後期高齢者医療特別会計	83億 200万円	81億6,200万円	1億4,000万円	1.7%
介護保険特別会計	258億4,500万円	252億3,500万円	6億1,000万円	2.4%
合 計	2,659億5,400万円	2,704億1,700万円	▲44億6,300万円	▲1.7%

令和7(2025)年度予算案 一般会計の内訳

※金額等は表示単位未満で四捨五入しているため
合計などが一致しない場合があります。



歳入は、特別区税や特別区交付金について**増加**を見込んだほか、地方創生臨時交付金や公立学校給食費負担軽減事業に係る補助等の**増**により、都支出金が**増**となりました。
一方で、中野駅周辺まちづくりの進捗等に伴い、国庫支出金が**減**となったほか、区有地等の資産活用に伴う転出補償の**減**による諸収入の**減**、投資的事業の**減**等により、基金からの繰入や特別区債が**減少**しました。



歳出は、中野駅新北口駅前広場整備事業関連経費、児童手当、自治体情報システム標準化・共通化経費、(仮称)上高田五丁目公園用地取得費、中野三丁目自転車駐車場整備費、教育・保育施設給付費等が**増**となりました。
一方で、中野四丁目新北口駅前地区や囲町東地区の市街地再開発事業関連経費及び学校施設整備費等の投資的経費が**減**となったほか、新庁舎什器等の購入経費、退職手当や公債費等が**減**となり、前年度を**下回る**予算となりました。

令和 7 (2025)年度予算案の主な項目

令和 7 (2025)年度予算の主な項目について、中野区基本構想で掲げる 4 つのまちの姿に沿ってお示します。

▼基本構想で掲げる 4 つのまちの姿

- | | |
|--|-----------|
| 1. 人と人がつながり、
新たな活力が生み出されるまちへの取り組み | 5 ~ 1 5 |
| 2. 未来ある子どもの育ちを
地域全体で支えるまちへの取り組み | 1 6 ~ 3 2 |
| 3. 誰もが生涯を通じて安心して
自分らしく生きられるまちへの取り組み | 3 3 ~ 4 1 |
| 4. 安全・安心で住み続けたいくなる
持続可能なまちへの取り組み | 4 2 ~ 4 9 |
| 5. その他の取り組み | 5 0 |

I 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み(1)

※資料中【】内のページは、別紙「令和7(2025)年度当初予算(案)の概要」の該当ページです。

男女共同参画センターSNS相談の開設 (新規) 915万4千円【P12】

LINE等のSNSを活用したオンラインの相談窓口を開設し、気軽に相談できる環境の整備を行うことで、誰にも相談できず、様々な問題や悩みを抱え込んでいる方を必要な支援につなげます。

(仮称)ユニバーサルデザイン評価・アドバイザー会議の開催 (新規) 33万6千円【P12】

最新のユニバーサルデザインを取り入れた区有施設にするとともに、施設の改善・向上(スパイラルアップ)を図るため、有識者で構成する評価会議を開催します。

山崎家書院・茶室に係る学術調査業務 (新規) 693万4千円【P17】

中野区立歴史民俗資料館の庭園内に存する旧名主家である山崎家の書院・茶室について、将来的な区登録・指定文化財としての登録・指定や修復工事を見据え、文化財的価値と現況・劣化状況等把握のため学術調査を実施します。

I 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み(2)

外国人のためのオンライン日本語教室事業

(新規)

76万1千円【P17】

外国人が生活等に必要な日本語能力を身に付けられるよう、初期段階の日本語教育を提供するため、オンラインによる日本語教室を試行的に実施します。

▼対象 区内在住・在勤・在学で日本語を初めて学ぶ外国人

▼内容 資格を有する講師による講義形式。内容はJF日本語教育スタンダードA1レベル

▼見込まれる効果

- ・現在、中野区国際交流協会においても日本語講座を実施しているが、外国人人口の増加に伴い受講希望者が増加しており、区でも日本語教室を実施することで、受講者の分散を図る。
- ・オンラインで実施することで、「教室が遠い」「移動手段がない」などといった理由で参加が難しい学習希望者のニーズに対応。
- ・受講者に対し、区の外国人相談窓口等の多文化共生施策を発信することで、外国人の生活支援につなげる。



区内経済・産業を活性化

①伴走型中小企業経営支援体制の構築に向けた環境づくり（拡充）

5,386万9千円【P17】

経営相談機能の拡充を図るため、令和7年度からコーディネーターを中心とした伴走型中小企業経営支援体制の構築を行います。

- ・産業振興センターのハード面の改修
- ・経営者が集まるネットワーク（の場）の形成
- ・創業教育の実施

②商店街街路灯に係る支援事業（電灯料助成）（拡充） 2,474万5千円【P17】

道路交通の安全、防犯対策及び都市美化の観点で実施している商店街街路灯電灯料助成について、定額制から定率制に変更することなどにより、商店街のコミュニティ形成・維持への意欲を高めます。

- ・商店街街路灯電灯料助成の見直し
定額 780円 → 定率助成 4／5（令和7年度は激変緩和措置として9／10）
- ・アーケード電灯助成の実施・見直し

I 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み(4)

③アニメコンテンツによるシティプロモーションの推進（拡充）

2,590万5千円【P18】

区内で観光に携わる団体や企業との連携により、アニメコンテンツを用いて中野のシティプロモーションを目的とした実行委員会を立ち上げ、アニメ事業を実施します。区内の有力なアニメコンテンツホルダー等をオブザーバーとし、若年層を中心に中野のまちへ誘引する魅力的な事業を展開していきます。

▼実施事業

(1)中野チルナイトピクニック

中野四季の森公園を会場に、アニメーション映画の屋外上映を実施
セントラルパークイーストのビル壁面にプロジェクションマッピングを投影

(2)情報発信事業

アニメコンテンツホルダーと連携し、観光情報を発信

(3)デザインマンホールの設置

区内アニメ事業者より作品を公募し制作、設置

I 人と人とがつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み(5)

夕涼みアニメシアター 中野チルナイトピクニック（令和6年度実施結果）

▼イベント概要

「都心で多くの人と一緒にくつろぐ」という新しい価値観の提案を中心に、アニメによる観光促進と、中野のブランド価値を向上させる取り組みとして、中野セントラルパークイーストの壁面にアニメーション映画を投影するナイトイベント。

昨年8月22日(木)～24日(土)の3日間、中野四季の森公園・セントラルパークイーストにて開催。

アニメーション映画を上映したほか、子ども向けワークショップやDJパフォーマンスも実施した。

▼動員数（目測概算）

8月22日(木) 約800人

8月23日(金) 約1,200人

8月24日(土) 約1,600人 合計 約3,600人

⇒令和7年度は内容をさらに充実させ8月に実施予定。



I 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み(6)

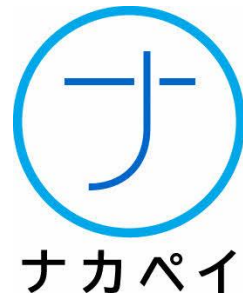
④デジタル地域通貨事業の拡充（拡充）

4億4,960万6千円【P17】

区内の経済・産業を活性化するとともに、中野区内限定で利用できるキャッシュレス決済アプリ（ナカペイ）をツールとして活用し、区の政策・施策を側面的に推進するため、コミュニティポイントを導入するなどデジタル地域通貨事業を拡充します。

▼ナカペイを活用したコミュニティポイント事業

- ・歩こうポイント
- ・高齢者会館事業（介護予防）参加ポイント
- ・**健幸ポイントを活用した健康づくり促進のための実証事業（新規）→P.35**

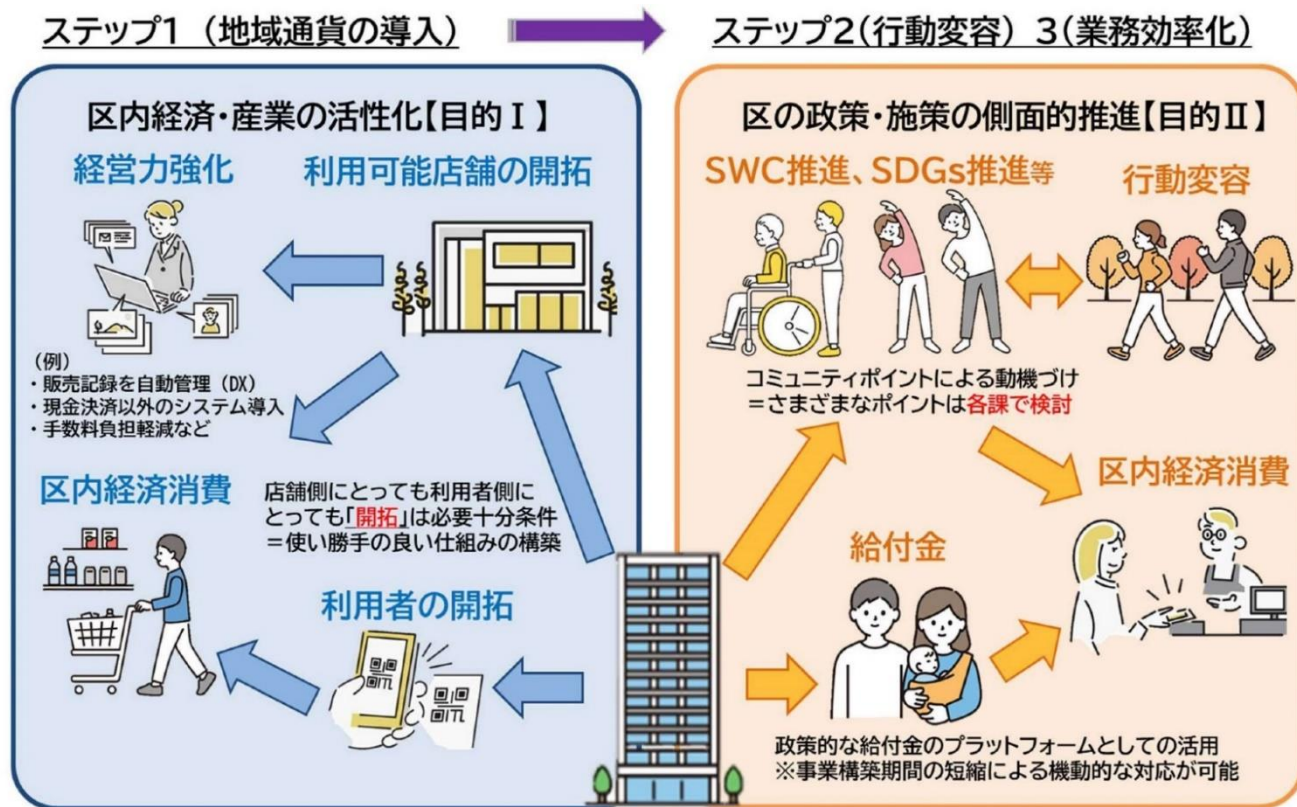


▼中野区デジタル地域通貨「ナカペイ」

- ・昨年9月20日にリリースした、区内の加盟店で1ポイント1円として利用できるキャッシュレス決済サービス。区民、在勤者、在学者、来街者、すべての方が利用可能。
- ・1月30日時点で、約6万6,000ダウンロード。加盟店舗数は約1,270店舗。
- ・令和6年度は、30%プレミアム付デジタル地域通貨の販売とアプリダウンロードキャンペーンを実施。

I 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み(7)

デジタル地域通貨事業のイメージ



I 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み(8)

区民活動センターへのフリーWi-Fi導入による地域活動の活性化 (新規)

6,490万2千円【P26】

区民活動センターのロビー及び集会室における地域活動で利用できる常設型のフリーWi-Fiを整備します。

- ・区民活動センター集会室における利便性の向上
- ・地域団体等の活動活性化
- ・デジタルデバイドの解消

施設予約システムの再構築 (拡充)

2億968万9千円【P27】

※区民費、健康福祉費計上分含む

令和8年3月の本格稼働に向け、本人認証システムを活用した団体登録や、オンライン・キャッシュレス決済機能を搭載した施設予約システムの詳細設計と、運用に係る利用者・管理者用のOA機器調達等を行います。

中野駅周辺各地区のまちづくりを推進

①中野駅周辺のまちづくり（推進）

171億6,633万3千円【P39】

- 中野駅周辺まちづくりに関する業務支援
 - ・中野駅周辺事業間調整
 - ・中野二丁目地区、中野五丁目地区まちづくり検討
 - ・中野駅周辺V Rデータの更新・修正
- 都市再生土地地区画整理事業補助（中野二丁目地区）
 - ・駅前広場整備工事、インフラ工事 等
- 都市再生土地地区画整理事業補助（中野三丁目地区）
 - ・桃園広場デッキ工事、区画道路築造工事 等
- 中野三丁目自転車駐車場整備事業
 - ・用地取得
- 都市再生土地地区画整理事業補助等（中野四丁目新北口駅前地区）
 - ・道路整備、インフラ工事、旧区役所低層部除去工事、仮設バス停整備工事 等
- 市街地再開発事業補助等（囲町西地区）
 - ・建築物等除却、補償 等
- 市街地再開発事業補助等（囲町東地区）
 - ・建築工事費、道路整備補償 等
- 中野駅西側南北通路・橋上駅舎整備 … P. 14
 - ・本体工事、中野駅西口広場・デッキ整備、シェルター設置（西側南北通路部分）
- 中野駅新北口駅前広場整備事業
 - ・中野駅新北口歩行者通路整備
 - ・仮設階段工事
- 中野駅周辺エリアマネジメント推進事業 … P. 15
 - ・中野駅周辺エリアマネジメント協議会の運営支援
 - ・エリアプラットフォーム及び事業推進主体の設立支援
- 中野駅新北口駅前地区市街地再開発事業の評価

I 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み(10)

①－I 中野駅西側南北通路・橋上駅舎整備

中野駅地区においては、ユニバーサルデザインに配慮した再整備を行うことにより、高低差による地区分断の解消を進め、中野駅周辺の回遊性と公共交通機関の利便性向上を図ることで、誰もが行き交いやすい、まちとにぎわいの要を形成することを目指しています。中野歩行者専用道第2号線（中野駅西側南北通路）及び橋上駅舎等の整備を行います。

▼中野駅橋上駅舎・駅ビル 外観



（出典元：J R 東日本）

▼中野駅橋上駅舎・駅ビル 南側



（出典元：J R 東日本）

▼中野駅橋上駅舎・駅ビル 現況



（出典元：鹿島建設株式会社）

I 人と人がつながり、新たな活力が生み出されるまちへの取り組み(II)

①ー 2 中野駅周辺エリアマネジメント推進事業

中野駅周辺のエリアマネジメントにより、公共空間等の利活用や安全・安心の取組を持続的に実施することで、まちの機能やブランド力の向上、地域経済の活性化を図ります。

②中野サンプラザ南側広場開放事業 (新規) 1,853万7千円【P14】

中野サンプラザ南側広場について、株式会社まちづくり中野21から当該部分を借り受け、オープンスペースとして暫定的に開放するために、警備や清掃等の管理を実施します。

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(1)

幼稚園における多様な他者との関わりの機会の創出事業 (新規)

2億162万円【P21】

保護者の就労等の有無にかかわらず、幼稚園等において、専用室を設け、週1日以上定期的にかつ継続的な**預かり保育**を行います。このことにより、子どもの健やかな成長と子育て支援を充実していきます。

▼**対象児童** 原則として2歳児クラス相当の未就園児

▼**実施場所** 私立幼稚園、認定こども園 10施設

▼**開始時期** 令和7年6月以降 利用児童の募集・選定予定
7月以降 利用児童の預かり開始予定

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(2)

保護者への支援の拡充

①認証保育所等保護者補助金の補助上限額の引き上げ（拡充）

1億1,196万2千円【P21】

認可外保育施設を利用する保護者と認可保育所等を利用する保護者の負担の公平化を図るため、認証保育所等保護者補助金の上限額を引き上げます。

▼補助上限額 62,000円→70,000円へと8,000円の引き上げ

②私立幼稚園等保護者補助入園料補助金額の増額（拡充）

4,504万2千円【P21】

保護者の経済的負担を軽減するため、私立幼稚園等の入園料補助金額を引き上げます。

▼補助金額 45,000円→60,000円へと15,000円の引き上げ

▼補助対象者 私立幼稚園等に通う児童の保護者

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(3)

③病児保育事業の拡充（拡充）

4,860万6千円【P22】

近年、共働き世代が増加傾向にあり、子育てと就労の両立のため、様々な子どもの預かりサービスのニーズが高まっています。

なかでも、現在、区内北部地域1か所でのみ実施し、地域偏在が生じている病児保育事業について、**中部・南部地域**で施設を開設する事業者を新たに誘致し、保護者の子育てと就労の両立等の支援を行います。

▼開設時期 令和7年7月（予定）

▼定員 1日6人

▼保育実施時間 月曜日～金曜日 9時～18時（祝日、年末年始を除く）

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(4)

④子どもショートステイ事業（拡充）

5,610万2千円【P22】

ショートステイ実施場所を増やすとともに、利用要件の緩和、電子申請による手続きの簡素化を実施します。また、ひとり親、経済的困窮者等が継続して利用できるよう、利用料金の見直しを図ります。

▼供給量の拡充

独立型ショートステイホームの新規開設（区中央部を想定）

▼利用要件緩和と電子申請の導入

- ・子育て家庭の支援のため、現行の利用要件に加え、**保護者の休息(レスパイト)**を理由とする利用も可能。
- ・Logoフォームを利用した電子申請の導入

▼利用者負担額の変更

今まで各施設で異なっていた利用料金を統一し、利用しやすい金額とする。
（住民税非課税世帯・ひとり親世帯 500円/日、住民税課税世帯 1,500円/日）

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(5)

子どもの体験事業（拡充）

267万2千円【P22】

経済的な理由により体験や経験の機会が少なくなりやすい家庭の子どもに対し、なかの里・まち連携自治体と連携した体験事業を実施します。

（令和6年度試験的に実施）

▼実施場所 **山梨県北都留郡丹波山村**

▼実施時期（予定） 8月～9月中（2回）

▼定員 各回20人程度

▼参加費 無料

▼体験内容 豊かな自然に触れることができる体験



地域学校運営協議会・地域学校協働活動の推進（拡充） 1,316万2千円【P22】

各学校の個別の運営に合わせた地域との連携を進めていくため、令和7年度より各小中学校・幼稚園に学校運営協議会を設置するとともに、令和4年度から設置を進めてきた中学校校区ごとの地域学校運営協議会を、課題や認識の共有を行う「学校運営連絡会」に転換します。

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(6)

民間保育施設の大規模修繕支援 (新規)

1億767万円7千円【P21】

自己所有物件の民間保育施設（認可保育所・認定こども園）について、建築・修繕後原則15年以上経過し、老朽化した設備等の改修を行う施設における大規模修繕工事費の補助を計画的に実施します。

子ども・若者育成活動支援事業 (拡充)

2,159万3千円【P21】

子どもの権利条例に基づく意見表明や、若者世代からの区政への提言をより進めていくため、ハイティーン会議・若者会議を拡充します。

▼子ども会議の拡充

【現行】中学・高校生（13歳～18歳）

【拡充後】小学4年生～高校生（10歳～18歳）へ対象年齢を拡大。

▼伴走型サポート・課外活動経費の拡充

活動日以外の課外活動を充実することで、より積極的に地域に飛び出し、探求と議論を深め、具体性のある取組の提案につなげていきます。

▼中高生の居場所事業

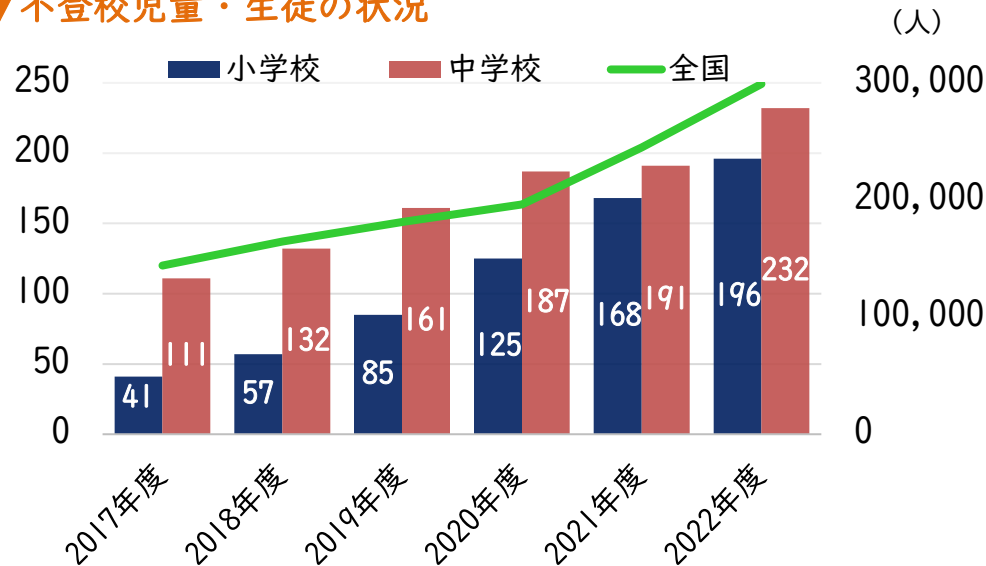
区有施設等を活用したスポット的な居場所事業を実施します。

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(7)

不登校対策の拡充（教育支援室民営化等）（拡充） 6,752万5千円【P23】

中野区における不登校児童・生徒は、年々増加傾向にあり、特に中学校における割合が高くなっています。これまで区は、校内の別室における個別指導や、教育支援室や巡回支援による学習指導、教育センターにおける教育相談など、一人ひとりの状況に応じた支援を行ってきました。さらなる支援を充実していくため、不登校対策を拡充していきます。

▼不登校児童・生徒の状況



学校内・外で相談・指導を受けられていない割合は、小・中学校ともに約 **20%** (2022年度)

すべての児童・生徒が自分らしく学ぶため、**子どもたちが自身が道を選択できる環境づくり**をさらに進めていきます

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(8)

不登校対策の拡充（教育支援室民営化等）（拡充）

▼教育支援室の運営委託

民間事業者を活用して新たな運営体制を構築し、学習支援機能と居場所機能の一体的な充実を図ります。

	令和6年度まで	令和7年度から
開室日時	月～金 9時～15時	月～金 9時～ 16時
内容	○個別学習・ものづくりや調理等の体験・校外学習 ○VLP ○進路指導 ○個別面談・保護者会	○個別学習・ものづくりや調理等の体験・校外学習・ 小集団学習・探究活動・宿泊体験・レクリエーション ○VLP・ オンライン学習 ○進路指導 ○個別面談・保護者会

▼不登校対策アドバイザーの設置

不登校児童及び生徒並びにその保護者に対して、これまで以上に体系的かつ適切な支援を提供するため、不登校アドバイザーを設置します。

- ①教育センター及び学校が実施する不登校対策事業に係る指導・助言
- ②教育相談に係る会議への参加

▼小学校への不登校巡回教員の配置

拠点とする5校の小学校に不登校巡回教員を配置し、各学校に対して相談対応や校内の環境整備、不登校の未然防止等、不登校児童への支援の充実を図ります。

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(9)

常設プレーパークの開設（推進）

1億2,309万2千円 【P23】

子どもが自由にやりたい遊びができ、多様な交流や、豊かな自然環境を生かし、自然と触れ合える体験が得られる地域の居場所として、江古田の森公園内に常設プレーパークを開設します。（令和6年度試行実施：24日間で延べ3,695人参加）

▼開園時期（予定）

冬季：11月から2月まで

冬季以外：3月から10月まで

▼開園日（案）

週5日間（日・月・火・水・土曜日）※木・金曜日は閉園

▼開園時間

冬季：9時30分から17時まで

冬季以外：9時30分から18時まで

▼実施ゾーン

中野区立江古田の森公園内 里山の樹林の一部



▲中野区立江古田の森公園（江古田3-14）

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(10)

▼常設プレーパーク内容

- ・開設時は、プレーリーダーが常駐し、子どもの遊びをサポート
- ・泥遊び、水遊び、木工作、秘密基地づくり、ロープ遊び、たき火などの実施、江古田の森の自然体験、学習
- ・子どもだけでなく**乳幼児親子同士の居場所**を創出し、地域住民との交流が生まれる場所として運営。
- ・子育て中の方、興味のある方、将来のプレーリーダーとなりうる方などを対象に、プレーパークの魅力を伝え、参加者の増加などを目的とした**普及啓発講演会**を実施
- ・プレーパークの担い手となるプレーリーダーを養成・確保していくため、すでに区内で活動しているプレーパーク団体や、担い手になりうる人材を対象とした**スキルアップ講座**を実施



2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(11)

放課後等の子どもの居場所の拡充（推進）

3,428万3千円【P23】

これまで区では、学童クラブ待機対策を行い、待機児童数を大きく減少させてきました。

さらなる対策強化のため、（仮称）キッズ・プラザ上鷺宮の新規開設を進めるとともに、学童クラブの定員拡充等、子どもの放課後の居場所の充実を図ります。

▼学童クラブの定員拡充

かみさぎ(71人→74人)、江古田(50人→60人)

▼(仮称)キッズ・プラザ上鷺宮の設計・工事

【設計・工事スケジュール】

令和7年度	基本設計・実施設計
令和8年度	工事着手
令和10年度4月	開設

▼学校の空きスペース等の活用によるキッズ・プラザの拡充



2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(12)

児童館の機能拡充（推進）

1 億4,854万5千円【P23】

子どもと子育て家庭を取り巻く福祉的課題や多様なニーズへ対応するため、児童館運営・整備推進計画に基づき、基幹型児童館、乳幼児機能強化型児童館、中高生機能強化型児童館の3類型への移行に向けた取組を進めます。

▼乳幼児機能強化型児童館への移行（朝日が丘児童館・新井薬師児童館）

0歳から18歳までの子どもと保護者を対象とした施設として、これまでの児童館が果たしてきた機能・役割に加え、特に乳幼児親子を対象とした事業を強化した運営を行います。

- ①子育て家庭への支援機能を強化し、乳幼児親子向けの講座やイベントを充実。
- ②親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て支援情報の提供と、子育て・子育てに関する相談・助言機能の強化。
- ③児童館の状況に応じて、隣接する児童遊園や公園を活用した外遊び事業の展開。



2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(13)

▼基幹型児童館への移行

地域の子育て・子育ての拠点として他の子ども施設や相談機関と連携を図り、エリア内の子ども施設における中心的な役割を担います。

子育て家庭に関する相談や情報提供、助言等の必要な支援を行うため、令和7年4月より、**利用者支援専門員**を各館に1名配置します。

▼中高生機能強化型児童館への移行

若宮児童館を中高生機能を強化した児童館として整備し、中高生年代の交流・活動支援の場や居場所としていきます。

【整備スケジュール】

令和7年度	敷地測量
令和7～8年度	基本計画・基本設計・実施設計
令和9年度	工事着手

2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(14)

▼開館日時の拡充

休館であった**月曜日**も開館。閉館時間も**19時**までに延長します。

- | | | |
|--------------|-----------|-----------------|
| ・乳幼児機能強化型児童館 | 日曜日～土曜日 | 10時～ 19時 |
| ・基幹型児童館 | 月・火・木・土曜日 | 10時～18時 |
| | 水・金曜日 | 10時～ 19時 |

▼ふらっとサンデー(日曜日乳幼児親子開放事業)の拡充

現行の9館に加え、新たに**大和児童館**でも開始します。

▼子どもの声を反映した児童館の環境整備

子ども会議や、意見箱等からの子どもの声を聴き、子どもたちが多様な遊び・学び・体験や、自由に交流できる場を整備・充実させるための物品を購入します。



2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(15)

妊娠・出産・子育てトータルケア事業の充実（拡充）

11億6,367万円4千円【P27】

妊娠から出産、子育てまでの個々のニーズに応じた切れ目ない支援を行うため、産後ケア事業の更なる充実、相談支援事業における質の向上、母子保健DXの推進に向けた体制づくりを行います。

▼産後ケア事業の充実

① **アウトリーチ**の利用者負担金の減額 3,000円→**2,000円**

② **ショートステイ**の実施

夜間に2名以上の職員配置、24時間365日受け入れ体制整備をした区内助産院への加算を行います。

▼出産・子育て応援事業の法定事業化

「妊婦のための支援給付金」

国の制度に合わせ、中野区においても、これまでギフトカードで配布してきたが、**現金**を選択できるようにするとともに、妊娠した方へ計**10万円**を給付します。



2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(16)

▼妊産期相談支援事業等の従事者に対する人材育成

妊産期相談支援事業等の従事者に対し、適切な相談支援を行うための研修を実施します。
直営専門職向け1回、事業者向け1回 計2回

▼母子保健DXの推進に伴う体制づくり

母子保健事業の制度変更（国・都）や自治体システムの標準化等を踏まえ、令和8・9年度の電子母子健康手帳アプリの全国展開を前に事業整理を行い、計画策定、広報普及準備を行う業務を委託します。



2 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまちへの取り組み(17)

障害児通所支援事業所の開設準備に係る費用の補助 (新規)

400万円【P30】

重症心身障害児を主たる対象とする放課後等デイサービス事業所及び、保育所等訪問支援を行う事業所について、開設準備に係る人件費等の費用を補助することで、障害児支援の体制の充実を図ります。

▼補助対象経費

- ①保育所等訪問支援事業を行う事業所の開設準備に係る費用 1事業所あたり100万円
- ②主に重症心身障害児を対象とした放課後等デイサービス事業所の開設準備に係る費用
1事業所あたり300万円

▼今後の整備

・保育所等訪問支援

既存する20か所の当該事業未実施事業所において、追加事業として整備できるよう誘致。

・重症心身障害児を対象とした放課後等デイサービス

今後、2か年で2事業所を開設することで、サービスの利用量を引き上げ、ニーズに合った療育を行う。

3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み(1)

SWC（スマートウェルネスシティ）を目指した施策展開について(1)

健康や生きがいにつながるまちを目指すため、**SWC（スマートウェルネスシティ）**を目指した施策展開を行っていきます。

※SWC（スマートウェルネスシティ）とは

ウェルネス（＝健幸：健康かつ生きがいを持ち、安心安全で豊かな生活を営めること）を、これからの「まちづくり政策」の中核に捉え、健康に関心のある層だけが参加するこれまでの政策から脱却し、市民誰もが参加し、生活習慣病予防及び寝たきり予防を可能とするまちづくりを目指す考え方です。

▼区におけるSWC（スマートウェルネスシティ）

SWCの理念を踏まえ、区民の健康度と幸福度を高める施策を展開するとともに、居心地が良く歩きたくなるまち（ウォーカブルシティ）を目指します。

3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み(2)

SWC（スマートウェルネスシティ）を目指した施策展開について(2)

▼取り組みの方向性

①ヘルスリテラシーの向上

健康無関心層に対して、健康への関心を高め、行動変容を促すとともに、健康寿命延伸のための正しい知識を広め、その人に合った健康づくりの取り組みを支援していきます。

②ソーシャルキャピタルの醸成

共通の趣味や関心をもつ人がつながりやすい環境や、町会・自治会や様々な地域活動団体のイベント等における多様な人が参加しやすい開かれた環境づくりを進め、人々が日常生活の中で出会うことで生まれる「ゆるやかなつながり」を広げながら、ソーシャルキャピタルを醸成していきます。

③居心地が良く歩きたくなるまちづくり

公共インフラの整備や文化・産業の振興によって、歩きたくなる魅力あるユニバーサルデザインのまちや過ごしたくなる快適空間、活動・交流したくなる場づくりを進めていきます。

3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み(3)

健幸ポイントを活用した健康づくり促進のための実証事業 (新規)

5,999万3千円【P26】

スマートフォンの健康管理アプリやウェアラブル機器を導入し、健幸ポイントの付与による自律的かつ継続的な健康づくりを促す実証実験を行います。また、高齢者会館に体組成計等を設置し、健康状態をセルフチェックできる環境を整備します。

▼対象者 40歳以上の区内在住者

▼募集人数 1,000名（定員を超えた場合、抽選により参加者を決定）

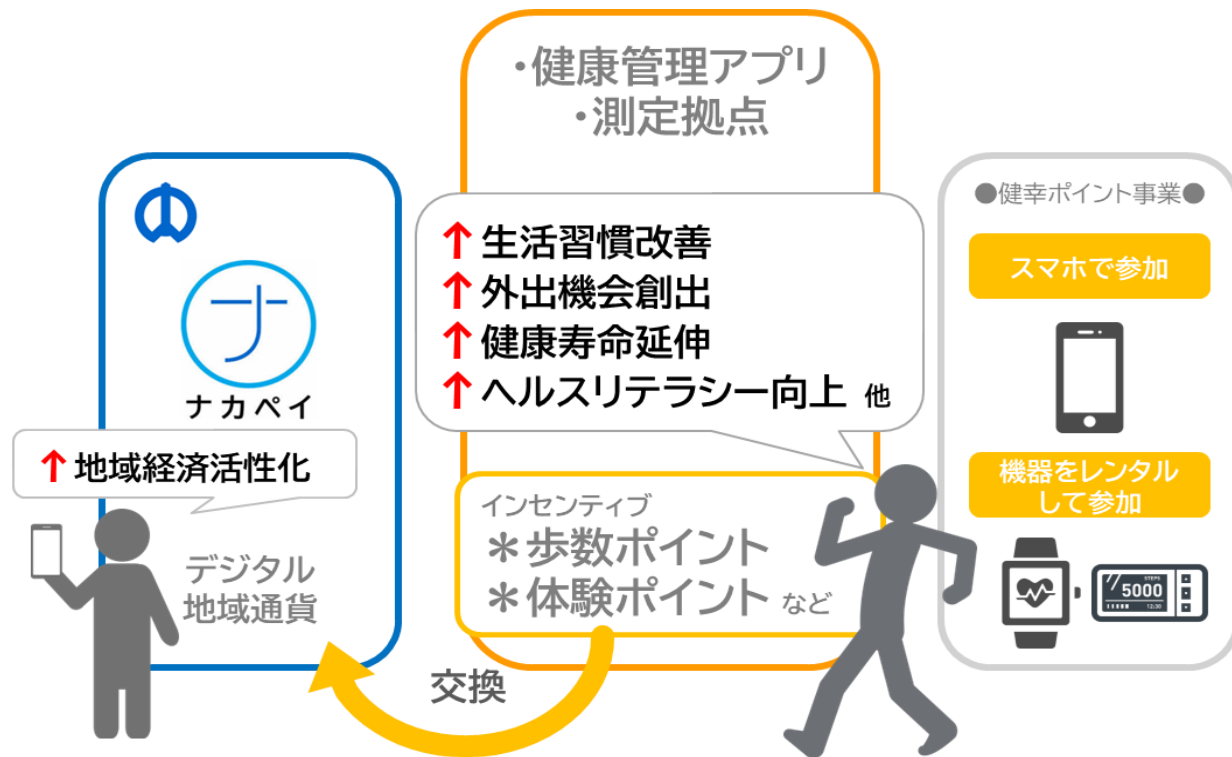
▼健幸ポイントを1人あたり上限6,000円を付与（1年あたり）

- ・1日あたりの歩数、測定スポットでの体組成計による測定、区が指定する事業・イベントへの参加等により、ポイントを付与します。
- ・健幸ポイントは1ポイントにつき、中野区デジタル地域通貨「ナカペイ」1ポイントに交換できます。

▼事業期間 令和7年度～令和9年度

3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み(4)

健康管理アプリを用いた事業展開のイメージ



→ アプリのデータに基づいた事業展開の検討

3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み(5)

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の導入（新規）

1,591万9千円【P26】

複雑化・複合化した課題を抱える家庭への支援を強化するため、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）2名を配置し、アウトリーチ等を通じた継続的で、適切な支援を行うことを目指します。

※「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」とは

地域住民から寄せられた相談などをきっかけに、個別に必要な支援につなげることや、地域のネットワークづくり等に取り組む専門職のことです。

アウトリーチチーム活動の各支援をもとに、支援を必要とする区民に寄り添い、伴走する支援体制を構築していきます。

3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み(6)

すこやか福祉センター保健福祉総合相談台帳の電子化 (新規)

712万6千円【P26】

すこやか福祉センターのケースワーク記録を電子化することにより、問い合わせ対応の迅速化、的確な情報共有および地域課題の把握を可能とし、相談業務の質の向上を図ります。

孤独・孤立対策（拡充）

284万5千円【P27】

第9期中野区地域包括ケア推進会議孤独・孤立対策部会において、具体的な支援方策や関係機関との連携及び協働のあり方等の検討を行うとともに、区民向けの啓発イベント「孤独・孤立対策フォーラム」を開催します。

高齢者へのサービスの拡充

①後期高齢者における低栄養予防と口腔フレイル対策の充実（拡充）

1,256万7千円【P27】

国保データベースシステム等から抽出した長寿健診、医療・介護データを医療専門職（保健師等）が分析し、後期高齢者における低栄養予防と口腔フレイル対策の充実を図ります。

▼**ハイリスクアプローチ**（分析にて抽出した対象者200人程度に参加勧奨を行い、希望者20～25人程度を選定）

個別の目標・評価指標を設定し、管理栄養士又は保健師の訪問等による栄養指導および生活指導を行います。

▼**ポピュレーションアプローチ**

高齢者会館（ミニデイ）等の通いの場等において、低栄養予防や口腔フレイルに関する講座を実施します。

- ・ 歯科衛生士による口腔フレイルの講座
- ・ 管理栄養士による低栄養予防等の講座

各2回×8会場＝32回実施

3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み(8)

②もの忘れ検診の充実（拡充）

864万円【P27】

対象年齢を拡大します（70～75歳→65～80歳）。

また、MCI（軽度認知障害）等、認知機能低下の進行を予防するため、検診後のフォロー体制を充実します。

障害の理解促進・ふれあい交流事業（新規）

44万円【P30】

障害のある人となない人との交流事業として、小学生の親子向け事業を実施し、障害への理解を推進します。

聴力健診の導入（新規）

264万5千円【P30】

聴力の低下等で日常生活に支障が生じる可能性がある65歳の方に、聴力健診を実施します。

3 誰もが生涯を通じて安心して自分らしく生きられるまちへの取り組み(9)

デフリンピック気運醸成事業 (新規)

642万2千円【P30】

東京2025デフリンピックのテコンドー競技の会場として中野区立総合体育館が使用されることから、大会開催に向け、デフスポーツや障害者スポーツの体験、普及啓発イベントを開催します。開催気運を高めるとともに、障害者スポーツへの理解の促進を目指します。

▼（仮称）デフスポフェスティバル（デフリンピック気運醸成事業）

デフリンピアンへの講演、デフリンピック競技種目の体験コーナー、パネル展示等を実施。合わせて、パラリンピック種目の体験コーナーも実施します。

- ・開催日 令和7年8月9日
- ・会場 中野区立総合体育館

▼スポーツ事業、健康福祉事業での講演・ガイド等の実施



▲中野区立総合体育館

区民の命と財産を守るために

①災害対策用備蓄物資の拡充（拡充）

1億4,336万8千円【P14】

▼ワンタッチ式間仕切りテントの配備

避難所のプライバシー確保が容易にできるよう、ワンタッチ式の間仕切りを各避難所に配備することで、避難生活の環境改善を図ります。

▼口腔ケア用品の配備

健康と密接に関係している口腔環境を整えるため、口腔ケア用品を各避難所へ配備します。

▼エアーテントの拡充

医療救護所となる避難所における、円滑な医療救護や感染症対策等のため、屋外にて救護者対応や搬送待機ができる空間を確保します。



▲現在使用しているエアーテント

4 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み(2)

②耐震化促進（新耐震基準木造住宅耐震補強等助成）（拡充） 597万2千円【P35】

熊本地震や能登半島地震において、平成12年5月31日までに工事に着手した木造住宅の一部に倒壊等の被害が出たことから、現在助成対象外となっている新耐震基準の木造住宅に対して、新たに耐震補強等助成を実施します。

③防災まちづくり（推進） 12億8,761万2千円【P38】

地震時における地域危険度が高い地域や木造住宅密集地域等において、地域の市街地状況に合わせた防災まちづくりを推進します。

▼防災まちづくり計画

- ・若宮地区の防災まちづくり

▼弥生町防災まちづくりの推進

- ・避難道路の整備
- ・不燃化特区制度を活用した建物の不燃化促進
- ・防災街区整備事業の推進

▼木造住宅密集地域の整備

（南台地区、平和の森公園周辺地区、不燃化促進助成）

▼大和町まちづくり

- ・地区計画の検討
- ・優先整備路線の拡幅整備
- ・不燃化特区制度を活用した建物の不燃化促進

4 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み(3)

脱炭素に関する区民学習会 (新規)

17万3千円 【P32】

脱炭素に関する区民の意識や行動変容を促すための学習会を実施します。

区民生き物観察会 (新規)

55万円 【P32】

生物多様性への関心と理解を深めるため、生き物調査の結果を踏まえ、区民を対象に、区内の動植物を観察する事業を実施します。

路面性状調査 (新規)

2,061万4千円 【P34】

中野区道路舗装維持管理計画の改定に向けて、道路現況平面図データを解析し、劣化傾向の分析と分類を行うため、路面性状調査を実施します。

ヒマラヤスギ対策 (新規)

1,978万3千円 【P34】

区立公園内のヒマラヤスギの多くが巨木化しており、倒木及び枝折れが発生しています。貴重なみどりを守りながら、被害のリスクを最小限にするため、強剪定による風圧軽減や軽量化を行うなど安全対策を実施します。

4 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み(4)

歩きたくなるまちづくりの推進 (新規)

59万9千円【P34】

歩きたくなるまちづくりに向けた取組の一つとして、公共的な空間に気軽に腰かけられるスペースを確保し、まちの活性化や区民の健康増進を図っていきます。

①まちの活性化

区民の外出を促すきっかけの一つとして、地域コミュニティの活性化や来街者数、滞在時間の増加を促し、まちの賑わい創出を促進します。

②区民の健康増進

区が取組を進めているSWCの考えに基づき、歩きたくなる魅力あるユニバーサルデザインのまちや、活動・交流したくなる場づくりなどを進めることにより、人々の自律的かつ主体的な健康づくりや社会的なつながりの広がりから、区民の健康や生きがいにつながるまちの実現を目指します。

▼事業内容

区有施設等における既存の腰かけスペースの周知、民有地における腰かけスペースの確保推進

▼今後の取組の方向性

歩きたくなるまちづくりには、人々が「歩きたい」「過ごしたい」と感じることのできる空間や居場所づくりが必要となるため、今後も歩きたくなる魅力あるまちの実現を図ります。

4 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み(5)

平和の森公園拡張整備 (新規)

732万1千円【P34】

旧矯正研西側用地を既存の平和の森公園の拡張および広域避難場所機能の拡充用地として都市計画手続をすすめ、広域避難場所内の一時避難場所となるオープンスペースが確保された、緑豊かな環境の中で賑わい憩える公園を整備します。

▼経緯

- ・令和3年3月、区は財務省から旧法務省矯正研修所跡地（新井3-37）を学校用地及び地区施設道路用地として取得。
- ・当該敷地を分筆し、西側用地を旧中野刑務所正門（文化財名：旧豊多摩監獄表門）の移築先に決定。
- ・西側用地を平和の森公園拡張用地として選定。

▼今後の予定

令和7年度	公園基本設計、都市計画説明会
令和8年度	都市計画決定、事業認可
令和9年度	用地取得、公園整備工事
令和10年度	公園供用開始、正門の公開開始

▼矯正研修所跡地



4 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み(6)

空家等実態調査 (新規)

1,916万2千円【P34】

現行の中野区空家等対策基本計画は、令和9年度までの計画期間となっており、令和8年度～9年度にかけて計画改定作業を行う必要があります。

計画の改定にあたり、空家等の現状や課題を把握し、空家等対策審議会における議論の基礎資料とするため、区内全域において空家等の実態調査を行います。

公営住宅等長寿命化計画の策定 (新規)

1,190万2千円【P34】

老朽化した住宅の効率的な管理と更新を目的とした「区営住宅等の長寿命化計画」は、住民の生活の質を向上させ、持続可能な住宅供給を実現させることができます。

公営住宅等の維持管理計画の策定、修繕や改善による効果の算出、建替えによるシミュレーション等の作成を委託し、公営住宅等長寿命化計画を策定します。

4 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み(7)

公園トイレ等ユニバーサルデザイン改修工事（拡充） 1億6,862万8千円【P35】

乳幼児や高齢者、障害者等の不特定多数の利用者の視点に立ったより使いやすいバリアフリー化のための改修のほか、新たにトイレの洋式化等に取り組み、ユニバーサルデザインの理念に基づく改修を行います。

モビリティ・マネジメントの導入（推進） 500万1千円【P36】

減便等が進む路線バスの利用率低下等により、公共交通サービス水準が悪くなるのを防ぐため、「モビリティ・マネジメント（MM）」を実施します。

また、MMによる効果を促進し、区民の日常の移動や生活がより便利になることが期待される「モビリティ・アズ・ア・サービス（MaaS）」についてシステム構想案を検討します。

▼モビリティ・マネジメント（MM）

公共交通のメリットや現状について区民に呼びかけ、区民が公共交通を意識的に利用し、外出率の向上や利用者の増加につなげるために取り組むもの

▼モビリティ・アズ・ア・サービス（MaaS）

経路検索、割引、決済等の各種交通サービスを一括で提供するもの

4 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまちへの取り組み(8)

東中野駅東口周辺のまちづくり（推進）

2,464万4千円【P38】

東中野駅東口周辺地域のまちの将来像を示す「まちづくり基本方針」の策定に向けた検討を進めるとともに、バリアフリー化の具体的な整備の可能性等について検討します。

野方駅・都立家政駅・鷺ノ宮駅周辺のまちづくり（推進）

2億4,004万円【P38】

西武新宿線（野方駅～井荻駅間）の連続立体交差事業を契機とした野方以西のまちづくりを進めていくため、各駅周辺のまちづくり及び基盤施設の具体化に向けた検討を進めます。

新井薬師前駅・沼袋駅周辺のまちづくり（推進）

33億4,571万3千円【P39】

新井薬師前駅・沼袋駅周辺地区で、交通環境の改善、にぎわいと魅力あふれるまちづくりや防災性の向上に向けた取り組みを進めます。

西武新宿線（中井駅～野方駅間）連続立体交差事業に伴う鉄道上部空間活用（推進）

563万2千円【P38】

西武新宿線（中井駅～野方駅間）の連続立体交差化により創出される鉄道上部空間の活用について、沿線の子どもたち、まちづくり団体、町会等の意見を聴取しながら、中野区鉄道上部空間活用基本方針策定に向けた検討を進めます。

次期中野区基本計画・次期中野区区有施設整備計画の策定 **(新規)**

431万5千円【P12】

中野区基本計画の計画期間が令和7年度に終了することに伴い、令和8年度以降を計画期間とする次期中野区基本計画を策定します。

また、中野区区有施設整備計画について、施設配置、活用の考え方の更新を行うため、令和8年度以降を計画期間とする次期中野区区有施設整備計画を策定します。

(仮称)DX推進計画の策定に向けた意識調査 **(新規)**

500万4千円【P14】

令和8年度以降のDXにかかるビジョンや取り組みの方向性を明らかにするため、新たな計画を策定する必要があることから、DXに関する区民等の意識・ニーズを把握するための調査を実施します。